

平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 アイフリーク モバイル
 コード番号 3845 URL <http://www.i-freek.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 彩美
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理部長 (氏名) 紀伊 克彦

TEL 092-471-5211

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	239		20		20		21	
30年3月期第1四半期								

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 22百万円 (%) 30年3月期第1四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	1.41	
30年3月期第1四半期		

(注) 平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	1,092	832	75.6	51.54
30年3月期				

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 825百万円 30年3月期 百万円

(注) 平成31年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年3月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)								
通期	1,643		589		590		593	41.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成31年3月期第1四半期より、従来の単体決算から連結決算へ移行しているため、四半期連結財務諸表を作成しており、対前期増減率については記載していません。

なお、第2四半期累計期間の業績予想については、業績管理を年次のみで行っているため、記載を省略しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	16,020,500 株	30年3月期	14,362,200 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	300 株	30年3月期	300 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	15,303,380 株	30年3月期1Q	13,594,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年四半期増減率との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、雇用情勢・所得環境の持ち直しが続くと思われる一方で、海外経済の不確実性により、景気動向は依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、新規事業を開始し、これまでのモバイルコンテンツ事業で培ったノウハウやキャラクター等のデジタルコンテンツ資産を有効に活用することができ、且つ成長が期待できる「ミライッポ Startup IPO」への取り組みのため、第三者割当による新株式及び第15回新株予約権の発行を行いました。

なお、「ミライッポ Startup IPO」は平成30年6月にプレサイトをオープンし、同年9月末に予定している本格稼働に向けて着実に進捗しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高239,397千円となり、営業損失20,647千円、経常損失20,761千円、親会社株主に帰属する四半期純損失21,588千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<モバイルコンテンツ事業>

モバイルコンテンツ事業におきましては、『デココレ』『photodeco+』では、名作アニメ「タイムボカンシリーズ ヤッターマン」の限定コンテンツ配信や映画「フジコ・ヘミングの時間」の公開記念LINEスタンプの制作・配信を行うなど、有名ライセンスとのコラボレーションを行い、新規利用促進と退会抑止施策をしましたが、新規ユーザー獲得の伸び悩み、また、新たなプラットフォームへの展開の遅れが業績に影響しました。

この対応としまして、よりユーザビリティの高いサービス提供を目指し、既存のサービスの見直し・精査を進めてまいります。

『森のえほん館』（電子絵本）では、120万人のパパ・ママが選ぶ絵本アワード「森のえほん館大賞2018」やウェディングドレスブランドのドレスデザイナー伊藤羽仁衣監修の絵本の一部をぬりえとして配布するなど、絵本配信だけに留まらない施策を実施しました。また、バラエティーに富んだ内容の新作絵本を毎週1冊ずつ配信し、高い継続率を維持しました。一方、業務の効率化を目指したサーバー移管の実施に伴い広告出稿を控えていたことが影響し、ダウンロード数は伸び悩みました。

今後は、効果的な広告の実施とともに、ターゲット層を拡大し、語学学習にフォーカスした絵本アプリの開発を進めてまいります。

この結果、モバイルコンテンツ事業の売上高は72,152千円、セグメント利益は14,861千円となりました。

<コンテンツクリエイターサービス(CCS)事業>

CCS事業におきましては、新しい教育材料を活用したクリエイタースタッフの技術力向上に取り組んでまいりました。クリエイタースタッフへのキャリア形成支援を図り、高付加価値の人材を供給すべく当社の新規事業や受託業務への参画も積極的に行い、実践を通じた経験値の向上も継続して行っております。

この結果、CCS事業の売上高は167,244千円、セグメント利益は16,114千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,034,170千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が823,583千円、売掛金が153,081千円、仕掛品が38,155千円等であります。

固定資産は、57,998千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が15,579千円、無形固定資産が7,833千円、投資その他の資産が34,586千円であります。

以上の結果、資産合計は、1,092,169千円となりました。

流動負債は、253,119千円となりました。主な内訳は、短期借入金100,000千円、未払金が21,810千円、未払費用が60,807千円、預り金が28,832千円等であります。

固定負債は、6,161千円となりました。

以上の結果、負債合計は259,281千円となりました。

純資産は、832,887千円となりました。主な内訳は、資本金が1,058,490千円、資本剰余金が1,058,496千円、利益剰余金が△1,285,662千円であり、自己資本比率は75.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成31年3月期第1四半期より、従来単体決算から連結決算へ移行しております。なお、平成31年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年5月11日公表の業績予想からの変更はありません。

今後、何らかの変化が生じた場合、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	823,583
売掛金	153,081
仕掛品	38,155
前払費用	19,167
その他	477
貸倒引当金	△295
流動資産合計	1,034,170
固定資産	
有形固定資産	15,579
無形固定資産	7,833
投資その他の資産	34,586
固定資産合計	57,998
資産合計	1,092,169
負債の部	
流動負債	
買掛金	9,394
短期借入金	100,000
未払金	21,810
預り金	28,832
未払費用	60,807
前受収益	17,169
未払法人税等	3,891
未払消費税等	11,213
流動負債合計	253,119
固定負債	
繰延税金負債	800
資産除去債務	5,361
固定負債合計	6,161
負債合計	259,281
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,058,490
資本剰余金	1,058,496
利益剰余金	△1,285,662
自己株式	△34
株主資本合計	831,289
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△5,541
その他の包括利益累計額合計	△5,541
新株予約権	7,139
純資産合計	832,887
負債純資産合計	1,092,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	239,397
売上原価	159,730
売上総利益	79,667
販売費及び一般管理費	100,314
営業損失(△)	△20,647
営業外収益	
貸倒引当金戻入額	63
その他	125
営業外収益合計	189
営業外費用	
支払利息	277
その他	25
営業外費用合計	302
経常損失(△)	△20,761
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,761
法人税、住民税及び事業税	854
法人税等調整額	△27
法人税等合計	827
四半期純損失(△)	△21,588
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,588

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△21,588
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1,157
その他の包括利益合計	△1,157
四半期包括利益	△22,745
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,745

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月16日を払込期日とする第三者割当による新株式950,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ121,600千円増加しております。また、新株予約権の行使による新株式708,300株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ100,911千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金は1,058,490千円、資本剰余金は1,058,496千円となっております。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)3
	モバイルコンテ ンツ事業	コンテンツクリエイ ターサービス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,152	167,244	239,397	-	239,397	-	239,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	72,152	167,244	239,397	-	239,397	-	239,397
セグメント利益又は 損失(△)	14,861	16,114	30,975	△1,926	29,049	△49,696	△20,647

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IP事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。